

緊急事態への対応

■大地震が発生したら

地震をはじめとする台風や大雨など自然災害は多くありますが、最も深刻な被害をもたらすといわれているのが大地震です。大地震が発生した場合の直後に自分はどうに行動すればよいかを確認しておき、いざというときに速やかに行動できるよう備えておいてください。

■発生直後

大地震発生直後は、どこにいても身の安全を守り、冷静に行動することを基本としてください。

- ・窓の近くはガラスが割れて危険なので速やかに離れる。
- ・屋外にいる場合は、建物から離れ落下物に注意して安全な場所に避難する。
- ・近くに身を隠す場所がない場合は、蛍光灯などの落下物から頭を守るためにバッグや衣類などで頭を覆う。
- ・大きな棚などは、中のものが飛び出し危険なので離れる。
- ・机の下にもぐるなど身の安全を確保する。
- ・ドアを開け、避難経路を確保する。
- ・火気を使っている場合は、火を消す。
- ・エレベーターに乗っているときは、すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階で降りる。閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け、救出を求める。
- ・化学薬品を使用している場合は、薬品から離れる。
- ・学生、教職員ともに「机の下へ!」、「棚から離れて!」などと、お互いに声を掛けあう。
- ・大型機械の運転中は、非常停止ボタンを押し、停止する。
- ・就寝中は、布団や枕などで頭を守り、転倒の恐れのある家具から離れる。
- ・風呂・トイレにいる場合は、ドアや窓を開け、避難経路を確保する（風呂・トイレは比較的 안전한場所と言われている）。

■発生から1分後

地震の揺れが収まる約1分後の行動のポイントは、①自分の身の安全を確保すること②2次災害の防止に努める③負傷者の救助にあたる。

以下に重要な事項を示しますので、理解しておいてください。

- ・冷静に落ち着いて行動する。
- ・建物は大丈夫か、火災は起きていないか、負傷者はいないかなど確認する。
- ・火災の場合は、自分の身が安全な範囲で初期消火に努める。
- ・負傷者がいる場合は、周囲に助けを求め、応急手当を行う。
- ・負傷したら大声をあげて助けを求める。声が出ない場合は、大きな音を出すなどし、助けを求める。
- ・火災が起きている場合は、タオルやハンカチで口を覆い避難する。
- ・エレベーター、エスカレーターは使わず、階段を使用する。
- ・押し合うなどしないで、周囲の人と協力して避難する。
- ・ガス漏れ対策として、ガスの元栓をしめる。
- ・電気火災、漏電の対策として、配電盤のスイッチを切り、電気器具はプラグを抜く。
- ・室内の状況（薬品の漏れや流出、部屋の損壊、火災状況）を確認後、学園内の避難場所もしくは近くの拠点避難場所に避難する。
- ・狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近づかない。
- ・海の近くにいる時は、高所に避難し、津波から身を守る。

■避難場所

大地震が起きた時の避難場所として、大学では「扇が丘キャンパス」と「やつかほりサーチキャンパス」において、火災による延焼の恐れがない場所を設定しています。巻末にある各キャンパスの地図を必ず確かめておいてください。

また、キャンパス内にいる時はもちろんですが、寮や下宿にいる時、通学途中に大地震が起きた時も、できるだけ大学の避難場所へ避難してください。

大学へ避難できない場合は、お住いの市町村の野々市市、金沢市、白山市の避難場所へ避難してください。下記ホームページから住まいの近くの避難場所も確認してください。なお、自分の住居地と避難場所への複数の避難経路を想定し、実際に徒歩で確認しておきましょう。

金沢工業大学大地震ガイドブック【学生用】：<http://mercury.kanazawa-it.ac.jp/earthquake/JisinGuide.pdf>



(住まいの市町村) 避難場所

■大学への安否報告

大学ドメインのメールアドレス (Gmail) の利用設定はできていますか？

災害発生時には安否確認メールが配信され、指定された URL から自身の安否情報、所在を回答してください。

毎年、試行 (訓練) を実施していますので必ず返信してください。

[安否報告連絡先]
 修学相談室 (1号館 2F)
 Tel. 076-294-6739 / 076-248-1106
 Fax. 072-248-9747
 Mail. kit-annpi@kanazawa-it.ac.jp
 〒 921-8501 野々市市扇が丘 7-1

学生ポータル下部メニュー
 「大地震対応ガイドブック」
 を万が一に備え、よく読んでおきましょう



安否確認回答画面 (例)

大学からの連絡は次の手段で行います

- 学園内非常放送設備 ● 掲示板 (3号館前・65号館)
- 電子メール・学生ポータル・本学ホームページ
- 地域コミュニティ FM 放送局「えふえむ・エヌ・ワン (76.3MHz)」
- 各種報道機関 (新聞・テレビ・メディア)

■家族との連絡方法

災害用伝言ダイヤル 171	
	録音 再生
①	① 録音 ② 再生
②	③ 録音 (暗証番号利用) ④ 再生 (暗証番号利用)
③	「連絡を取りたい方の電話番号をダイヤル」 携帯電話・固定電話など (固定電話の場合、076等の市外局番からダイヤル)
利用方法の案内はこちら http://www.ntt-west.co.jp/dengon/	

災害用伝言板 Web171	
	登録 閲覧
①	https://www.web171.jp にアクセス
②	「連絡を取りたい方の電話番号をダイヤル」 携帯電話・固定電話など (固定電話の場合、076等の市外局番からダイヤル)
③	画面の指示に従い 伝言を登録 画面の指示に従い 伝言の追加登録
利用方法の案内はこちら http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/	

実際の震災時につながりやすかったものです。確認してみましょう。

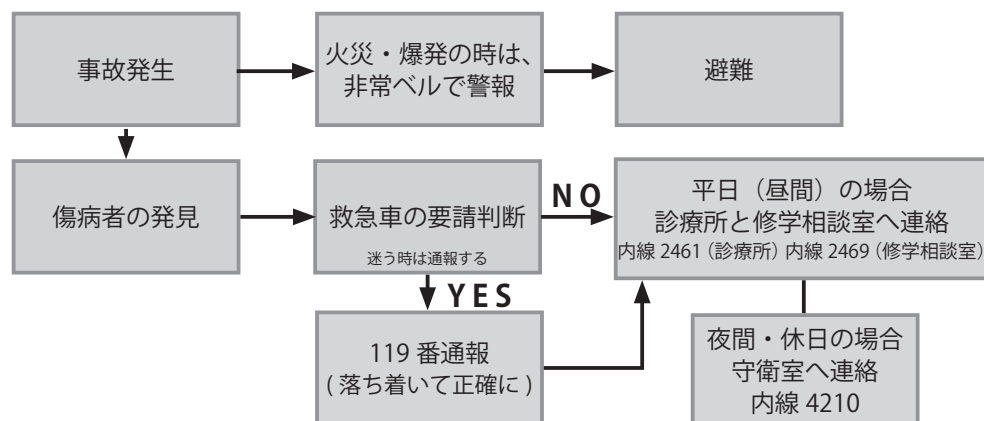
- インターネット電話 (Skype 等) ● 050IP 電話 ● twitter などの SNS
- たびレジ (海外旅行や海外出張される方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、またいざという時の緊急連絡が受け取れるシステムです。)

学内の安全対策

学内での実験、実習などにおける安全について、指導担当教員の指示・指導を十分に守ってください。本学ではプロジェクトデザイン入門開始時に「学生のための安全の手引」を、専門実験・演習科目開始時には「安全指針」を配付し、安全指導を行っていますので、熟読し、災害予防に努めてください。

これは単に学生個人のことだけでなく、同じ実験室・研究室で学ぶ学生におよぼす危険を防ぐとともに、安全について学ぶことでもあり、実社会に出ても役立つことです。

学内で事故が発生し、学生が負傷した場合には、次の処置をとってください。



■担架

各号館担架収納庫にあります。

このほかにエレベーターで利用可能な肩掛け式救護用担架が、ライブラリーセンター 1 階事務室、7 号館 1 階事務室、17 号館 2 階事務室、24 号館 2 階事務室、8 号館 3 階事務室、23 号館 1 階学生ステーション、守衛室（1 号館、南校地）、21 号館 307 室にあります。

■救急箱

各号館事務室・研究室・実験室・体育館・守衛室（1 号館、南校地）にあります。

■AED の設置について

AED とは automated external defibrillator の頭文字をとったもので、自動体外式除細動器ともいわれ、心室細動などによる心停止者に電気ショックを与え、心臓の動きを正常に取り戻させる機器です。扇が丘キャンパスでの設置場所は、下表を参照してください。この他に、62・65・74・75 号館（やつかほりサーチキャンパス）、天池自然学苑、穴水湾自然学苑、池の平セミナーハウス、東京虎ノ門にも設置してあり、下のマークが掲示してあります。



建物	設置場所
1 号館	1 階防災センター入口 (夜間出入口付近)
6 号館 (ライブラリーセンター)	1 階
7 号館	1 階自習室
9 号館 (放送大学石川学習センター)	1 階入口
11 号館	1 階診療所前
13 号館 (第 1 体育館)	入口外部
21 号館	1 階北側
23 号館	2 階
24 号館	2 階プロジェクト教育センター
26 号館 (チャレンジラボ)	1 階外部
31 号館 (国際高専)	1 階事務室前
40 号館	入口風除室内
41 号館 (夢考房)	1 階
南校地守衛棟	守衛棟受付